

第2回会議 Aグループ論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P1	1 計画策定の趣旨	—	—	自然災害が少ないことをアピールしていくなら、なるべく最初の方に記載した方が良いのではないか。	災害の少なさは、人口減少対策の面でも大事。
2	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)1行目 「31万2千人と」	「31万2千人と」という表現が気になる。	—
3	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)4行目 「少子高齢・人口減少社会を迎えます。」	人口減少社会を迎えることを断定するような表現をしないほうが良い。	—
4	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)6行目 「子どもを生み育てられる環境」	少子化の原因は、現役世代は子どもの養育費・教育費にお金がかかることが大きいのではないかと。学歴社会なので大学まで進学させなければならない。金銭的に余裕がない人は、子どもを生み育てることができない環境である。子どもを増やすのであれば、公的な支援が必要であり、こうした考え方を構想に盛り込むべき。	—
5	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)6行目 「子どもを生み育てられる環境」	経済的な理由もあり、一世帯で住む家建てる人が多い中、二世帯で住む人を増やしていくことは難しい。二世帯は、保育所や留守家庭児童会がなくても子育てがしやすい。公的な支援と合わせて考えていく必要がある。	—
6	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)6行目 「子どもを生み育てられる環境」	「子どもを生み育てられる環境」だけではなく、「移住」に関することも記載すべきではないか。	—
7	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)6行目 「子どもを生み育てられる環境」	結婚してこそ子どもが生まれるので、結婚に関する表現も必要ではないか。	—
8	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)6行目 「子どもを生み育てられる環境」	進学先がなく、道外に行ってしまう子どもが多い。私立より公立の方が金銭的な負担が軽いことから公立の進学を選択肢が多いほうが良い。	—
9	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)8行目 「誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って」	「移住してきた人も住みやすい」という表現を含めたほうが良い。	—
10	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	—	より具体的な目標を立てた方が、達成できたかどうかを把握しやすい。例えば、人口減少を解消するために何をしていくかということも具体的に記載したほうが良い。	—

11	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	—	他の自治体の人口減少対策(モデルケースなど)を記載してはどうか。	基本計画で記載すべきではないか。
12	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	—	東神楽や東川など周辺町は、子どもへの医療費助成が充実している。	思い切った何かをしてみる必要があるのではないか。
13	P5	3 まちづくりの展望	(2)地域コミュニティの創生	P5 (2)7行目「取組を進めていくことが重要です。」	すでに市民主体の取組が行われていることから、「こうした取組を取り込んだまちづくりが必要」という表現の方が良い。	—
14	P5	3 まちづくりの展望	(2)地域コミュニティの創生	—	町内会に加入する一番のメリットは、町内会が葬式を行ってくれることであった。今は業者をお願いしている。このことが地域のつながりを希薄化させた要因の一つである。	—
15	P5	3 まちづくりの展望	(2)地域コミュニティの創生	—	地域コミュニティの現状や課題とその対策を記載すべきではないか。	

第2回会議 Bグループ論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P7	3 まちづくりの展望	(4)地域経済の基盤強化とグローバル化の対応	P7 (4)2行目 「地域特性や資源を生かし、地域に根ざした各種の産業の充実を図り」	地震が少ないという旭川の地域特性を企業誘致など本市の成長に活用する旨のニュアンスを散りばめてはどうか。 また、本市の基幹産業である農業を核と捉え、地球規模で温暖化が進む中、今後、果樹などを地域資源として活用する視点を加えてはどうかと思うが、文章中の「「地域特性や資源を生かし、地域に根ざした各種の産業の充実を図り」」の部分で表現されているとも思う。	
2	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)7行目 「次代を担う人材の確保などの中長期的な対応」	若者や高齢者などの移住定住の視点を加えてはどうか。	
3	P7	3 まちづくりの展望	(4)地域経済の基盤強化とグローバル化の対応	P6 (3)9行目 「二酸化炭素などの排出削減や資源の循環利用を促進し」 P7 (4)2行目 「地域特性や資源を生かし、地域に根ざした各種の産業の充実を図り」	市内の自然エネルギー利用について、域内のキャッシュフローの促進の視点を検討してはどうか。 木質バイオマスの活用による地域特性を生かしたエネルギーの利用など、圏域内での資金循環を促進するという可能性もある。	
4	P7	3 まちづくりの展望	(4)地域経済の基盤強化とグローバル化の対応		旭川において水力発電(揚水発電)やその他、未利用エネルギーの活用の可能性はあるか。	近隣にダムを保有しているが、火力や原子力などベースロード電源と離れている立地状況において、ピークカットの役割が大きい大規模水力発電を設置するメリットは小さいのではないか。
5	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)7行目 「次代を担う人材の確保などの中長期的な対応」 P7 (4)2行目 「地域特性や資源を生かし、地域に根ざした各種の産業の充実を図り」	災害が少ないという地域特性を生かして、企業誘致などを積極的に進め、雇用の拡大する視点が重要ではないか。 (3)や(4)などに示されている地域特性や取組などを生かすことが、(1)の人口減少の対策となるものと考える。	同じ考えである。
6	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)6行目 「安心して子どもを産み育てられる環境を整える」	女性の社会進出とは別に子育ての環境が整っていない。 企業誘致や地元企業の育成も重要であるが、結婚、出産などに対する直接的な少子化対策が先決ではないか。	
7	P4	3 まちづくりの展望	(1)本格的な少子高齢・人口減少社会への対応	P4 (1)6行目 「市民が生き生きと学び、働くことができる環境づくりや安心して子どもを産み育てられる環境を整えるなど、まちの活力の創出と次代を担う人材の確保など中長期的な対応」 P7 (4)6行目 「若い世代はもとより、女性やシニア世代が活躍しやすい環境づくりを進める」	旭川市は離婚率が高い傾向にあると聞いているが、経済基盤が弱いため、安心して、結婚、出産できない現状もある。 6次産業など、地場産業の育成により、雇用促進し、経済基盤の安定化が必要。コールセンターなどのように契約社員ではなく、正社員として働ける環境の整備が重要である。	

8	P9	4 まちづくりの基本的な考え方		P9 4 1行目 「急速に進む少子高齢化・人口減少、地域経済の低迷、厳しい財政状況など、本市を取り巻く状況に対応していくために、これからのまちづくりを展望しつつ、」	記載されている5つのまちづくりの展望に重要な要素が全て含まれているか。また、まちづくりの基本的考え方とは、各まちづくりの展望を踏まえたものなのか。	(事務局)市民意見をもとに庁内議論を踏まえ作成している。現在、審議いただいている基本構想は、大きな方向性を示し、今後、基本計画において具体的な政策、施策を示す。
9	P7	3 まちづくりの展望	(4)地域経済の基盤強化とグローバル化の対応	P7 (4)2行目 「地域に根ざした各種の産業の充実を図り、さらには海外市場も視野に入れた地場産品の創出や販路拡大の取組の必要性が高まっています。」	豊田市のような大企業の立地による経済基盤の確保も視野としては必要。関連産業など地元産業の育成にもつながる。	
10					第7次総合計画において達成できなかった指標や浮かび上がった課題を第8次総合計画の策定に当たっても検討していく必要がある。また、市民検討会議で出された意見などを検討に加えていきたい。	
11	P7	3 まちづくりの展望	(4)地域経済の基盤強化とグローバル化の対応	P4 (1)7行目 「次代を担う人材の確保などの中長期的な対応」 P7 (4)2行目 「地域特性や資源を生かし、地域に根ざした各種の産業の充実を図り」 P7 (4)11行目 「観光振興や圏域全体の資源を生かした地場産品の販路拡大などを図るため」	活力をどう呼び込むかが重要である。少子化は本市だけではなく全国共通の問題となっている中、病院など都市機能が充実している本市の地域特性を生かし、産業振興を図り、若者の雇用を確保し、人をどう呼び込むかという視点が必要。一過性のイベントなどによる交流人口の増加を図るのではなく、まちの資源を若者の呼び込む魅力に変えることが重要。	
12	P7	3 まちづくりの展望	(4)地域経済の基盤強化とグローバル化の対応	P6 (3)5行目 「建築物や橋梁の耐震化の促進や地域防災力の向上を図るなど、市民の暮らしへのリスクを最小限にとどめるための危機管理体制を強化し、安心につながる安全なまちづくりを進めていくことが重要です。」	地震が少ないという本市の地域特性を積極的にアピールし、企業誘致や若者の呼び込みなどを進めることも必要ではあるが、災害とは地震だけでなく水害や火災など人災もあり、また、地震についても大規模地震の発生する確率がこれまで低かったというものであることから、手放しでそれを宣伝材料にすることは危険である。構想の中に表現されている市民や行政などが一体となり、万が一の災害発生に向けた対策強化が必要であるという考えは重要である。	